

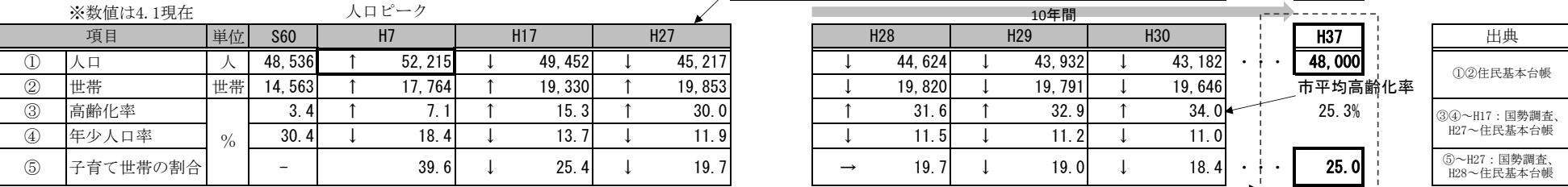
高蔵寺リ・ニュータウン計画の推進状況について

資料3

1 高蔵寺ニュータウンの現状と課題

高蔵寺ニュータウンは、現在の独立行政法人都市再生機構である日本住宅公団が施行した土地区画整理事業により整備され、昭和43年に藤山台地区から入居開始（計画人口は81,000人）

(1) 現在までの人口等の動向



(2) 目標及び成果指標

目 標	項目	基準値	時点	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	
	人口（人）	45,217 (H27.4.1)	4.1時点 実績	45,217 －	44,624 ▲ 593	43,932 ▲ 692	43,182 ▲ 750							48,000	
	子育て世帯（18歳未満の子どもがいる割合）（％）	19.7 (H27.4.1)		19.7 －	19.7 →	19.0 ▲ 0.7	18.4 ▲ 0.6						25.0		
→計画の期間 ※下段は前年比又は説明														目標値	
成 果 指 標	分野	成果指標	基準値	時点	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
	住宅流通	戸建住宅の空き家率（％）	3.2 (H26年度)	年間実績	未調査 －	未調査 －	空家数286 －	未調査 －							3.2以下
	交通	公共交通の人口カバー率（％）	76.2 (H27年度)		4.1時点 実績	76.2 －	76.2 →	76.2 →	76.2 →						85
	地域包括ケア	要介護等認定率（％）	12.2 (H27年度)	12.2 －		12.7 0.5	12.5 ▲ 0.2	14.9 2.4						21以下	
	既存資産（ストック）の活用	長寿命化対策を実施した公園数（公園）累計数	7 (H26年度)	年間実績	8 井戸坂公園	8 －	8 －	13 堂須公園他							15
	広域連携	高蔵寺駅の1日平均乗降客数（人）	50,033 (H26年度中)		50,594 561	50,764 170	51,384 620							51,000	
	情報発信	ホームページ年間アクセス件数（件）	6,851 (H26年度中)	市HP（年間実績）	12,649 5,798	15,008 2,359	8,084 ▲ 6,924								30,000
				専用HP（年間実績）	9 －	1,142 1,133	73,305 72,163								
			合計		12,658 －	16,150 3,492	81,389 65,239								

2 高蔵寺リ・ニュータウン計画の今後の予定

(1) 先導的な主要プロジェクト

区分		プロジェクト名	概要	平成29年度実績	平成30年度予定
①	先行プロジェクト	旧小学校施設（旧藤山台東小学校）を活用した多世代交流拠点の整備	旧藤山台東小学校の施設を活用し、子ども、子育て世帯、高齢者等を始めとした多世代が交流する拠点を整備する。	・高蔵寺まなびと交流センター（グルッポふじとう）整備工事（7～2月） ・地域包括支援センター（4月）、コミュニティカフェ、市民活動スペースの運営事業者を公募・選定（7月） ・サンマルシェ循環バス停の新設（3/17）「グルッポふじとう北」 ・条例制定・公布（10/3）、指定管理者の指定（12/18） ・施設愛称公募・決定「グルッポふじとう」（11/22） ・東部市民センターの図書室移転後の跡地活用の実施設計（6～2月） ・地域包括支援センターの再編 10→12か所 ※藤山台・岩成台中学校区の地域包括を施設内へ設置 ・地域住民サポーター説明会（2/25）、説明会後に登録 ・木育ワークショップ（グルッポふじとうで使うテーブルを作ろう）（2/10、2/24）	・グルッポふじとう施設開所（4/1） ・東部市民センター図書室等改修工事 工事箇所：3階図書室・視聴覚室他 導入機能：音楽室、軽運動室、多目的室、セミナートリハール室 工期：6月～11月（平成30年度中オープン予定） ・情報版設置
		民間活力を導入したJR高蔵寺駅周辺の再整備	高蔵寺ニュータウン及び周辺地区の玄関口として魅力ある顔づくりを推進する。駅北口周辺の再編整備、駅南口周辺や地下道空間の改善による駅南北の一体感の向上等を図る。	・駅前空間の整備コンセプトを検討 ・民間の進出意向を踏まえた事業スキームの検討 ・地元関係者（区長、権利者）へ訪問し現状の課題、駅前整備の考えを説明 ・関係機関協議を踏まえた駅前広場の配置計画の検討 ・民間事業者へのヒアリング（住宅・商業デベロッパー等9社、商業店舗・出版社等13社）	・平成29年度検討事項の継続 ・地権者勉強会の開催（7/9） ・地権者の意向把握（個別訪問） ・官民の役割検討 ・事業採算性の検討 ・暫定活用策の検討 ・商業コーディネーターへのヒアリング
②	展開プロジェクト	交通拠点をつなぐ快適移動ネットワークの構築	JR高蔵寺駅及びセンター地区を主要交通拠点に位置づけ、東西2か所にサブ交通拠点（新たなサブ拠点）を置き、切れ目のない交通ネットワークを構築する。	■市 ・先進事例調査（基幹バス交通、シェアサイクル、バス待合） ・高精度3Dマップの作成（2～3月） ・高蔵寺ニュータウン先導的モビリティ検討会議開催（第1回：10/30、第2回：3/16 構成員：名古屋大学、トヨタ自動車、名鉄バス、春日井市内タクシー組合、県等） ■市・トヨタ自動車 ・歩行支援モビリティプレ走行会・無料体験試乗会（11/12） ・歩行支援モビリティサービス実証実験（11/15～28） ■サンマルシェ～UR藤山台管理サービス事務所（約1.2km） ■市・県 ・警察庁新ガイドライン遠隔型自動運転実証実験（2/5）、モニター試乗20名。保健センター～新池公園（約1km）、保健センター駐車場内を走行 ■市・名古屋大学・県 ・自動運転デマンド交通実証実験（2/24）、モニター10組20名 押沢台地区～センター地区（買い物体験）（約2.3km） ■名古屋大学・市 ・ゆっくり自動運転実証実験（3/5） - 石尾台地内の老人憩いの家～石尾台ナフコ（約500m）	■市・名古屋大学 ◆モビリティサービス実証実験 ＜タクシー相乗り実証実験＞ ・既存の交通機関であるタクシー事業者と、新たに開発する配車アプリを連動させる実証実験。 ・ユニバーサル（介助）タクシーや相乗りなどを展開することにより、タクシードライバーの高付加価値化や利用料金の低額化などを目指す（双方にメリット発生）。 ＜住民共助のボランティア輸送実証実験＞ ・タクシー事業者では採算がとれない距離などに限定したマイカーの相乗り実証実験。 ・実費計算を厳密に行うことで、道路運送法をクリア。 ＜ラストマイルゆっくり自動運転＞ ・配車アプリと自動運転車両を連動させ、アプリによる車両予約や呼び出しなどを実証。 ・ゴルフカートなどを想定し、ラストマイルに訴求する ◆モビリティサービスシステム設計 ・パーソントリップ調査や携帯電話の滞留・移動データを統合することにより、ニュータウン地区の詳細な行動分析を実施。 ・地域の特性に応じた自動運転の導入レベルの検討や他のモビリティサービスの導入可能性などを複合的に検討。

区分		プロジェクト名	概要	平成29年度実績	平成30年度予定
②	展開プロジェクト	センター地区の商業空間の魅力向上と公共サービスの充実	センター地区において、交通結節機能を強化するとともに、商業及びサービス機能の充実を図る。	■市 ・東部市民センターの図書室移転後の跡地活用の実施設計（再掲） ■サマルシェを良くする会 ・緑のクリーンプロジェクトサマルシェガードフェンスクリーン作戦（5/20）参加者89名 →長寿命化とまちの景観向上のため、市がフェンスのペンキ塗りをシルバー人材センターへ委託（12～3月） ■高蔵寺きてみん祭inサマルシェ実行委員会 ・きてみん祭（7/16、17）	■市 ・東部市民センター図書室等改修工事（音楽室、軽運動室、多目的室、セミコンサート/リハーサル室）（再掲） ■高蔵寺きてみん祭inサマルシェ実行委員会 ・きてみん祭（7/15、16）（継続） ■（公財）都市づくりパブリックデザインセンター ・まちの活性化・都市デザイン競技の開催（応募中） （まちづくりのアイデアコンペの対象地としてセンター地区を応募中）
		スマートウェルネスを目指した団地再生の推進	高森台地区をモデルとして都市再生機構の団地再生と連携し、都市再生機構賃貸住宅、高森山、県有地を含むエリアを拠点に、高蔵寺ニュータウン全域でスマートウェルネスを目指したまちづくりを推進する。	■県・市 ・地域包括ケア団地モデル検討（高森台、石尾台） ・認知症予防コンクリート板コグニラダー設置（後田、高森山、石尾公園） ・医療・福祉関係者駐車場ハートフルパーキング制度の試行的運用 ・オレンジセーフティネット（認知症高齢者検索システム）による認知症高齢者の徘徊搜索模擬訓練の実施 ・県有地（高森台）への商業施設整備の提案募集（5月～） ■UR ・高森台団地の団地再生事業（事業区域 対象棟22棟／48棟、対象戸数842戸） 移転期限日：平成30年7月31日 ・高森台団地集会所を活用した地域包括支援センター出張窓口の設置（4月） ・介護予防・日常生活支援総合事業実施に係る集会所使用の無償化（4月）	■市 ・医療・福祉関係者駐車場ハートフルパーキング制度の本格運用（平成30年5月全市展開） ■UR ・高森台団地の団地再生事業（事業区域 対象棟22棟／48棟、対象戸数842戸）（継続） 移転期限日：平成30年7月31日 ・高森台団地の整備敷地の活用方策の検討（継続）
③	情報発信プロジェクト	ニュータウン・プロモーション	子育てしやすいまち等のブランドイメージを形成するため、さまざまなプロモーションを展開する。	■市 ・高蔵寺NT公式サイトの内容充実 ・50周年記念連携事業募集（2月～） ■サマルシェ会他 ・高蔵寺ニュータウンウォーク2017（4/30） ■高森台県有地の活用を提案する市民の会 ・第2回ハナモモ育樹祭（2/17）10:00～14:30 ■倉敷市 ・人生フルーツ映画鑑賞会時にレプリカパネル展示（玉島市民交流センター）（9/30）	■市 ・高蔵寺NT公式サイトの内容充実（継続） ・50周年記念事業認定（16件 7/27時点） ・50周年記念冊子作成 ・国土交通省との連携により第3回「住宅団地再生」連絡会議を春日井市で開催（11/5、6）※初の地方開催 ■サマルシェ会他 ・高蔵寺ニュータウンウォーク2018（4/29）（継続）
		ニュータウンまるごとミュージアム	計画的に整備された住宅団地やインフラ等の既存資産（ストック）を保全及び活用し、「住まいづくりの先進地」としてブランドイメージを確立し、発信する多様な取組を展開する。		■市 ・50周年記念冊子作成（再掲）

(2) 課題に応じた主要な施策

施策名		概要	平成29年度実績	平成30年度予定
①	住宅・土地の流通促進と良好な環境の保全・創造	子育て世帯等の若い世代が高蔵寺ニュータウンを居住地として選ぶようにするため、住宅や土地の市場流通を促進するための施策を講じる一方、住環境保全のための施策の導入を図る。	■市 ・立地適正化計画の策定（3月） 居住誘導区域 ■高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 ・先駆的空家モデル事業採択（国土交通省補助） ・住宅流通に資する各種セミナーの開催 ・リバースモーゲージセミナー（10/28）保健センター参加者31名 - 後援：（独）住宅金融支援機構 ・ホームインスペクションセミナー（1/13）保健センター参加者25名 - 協力：NPO法人日本ホームインスペクターズ協会 ・すまいの困りごと相談（11/2、11/3）11/2相談者 2組2名、11/2相談者 2組2名 - 協力：NPO法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議 ・藤山台UR賃貸住宅のDIY（11・12月） ・上記DIY住宅モデルルーム公開（1/27～2/4） ・上記DIY講演、ショートムービー上映会（2/3） 東部市民センターホール ・空き家バンクの利用促進	■高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 ・リバースモーゲージセミナー（継続） ・住まいの困りごと相談会（継続） ・ホームインスペクションセミナー（継続） ・空き家バンクの利用促進（継続） ■高蔵寺まちづくり株式会社・高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 ・DIYワークショップ（7月～） 中央台UR分譲住宅を高蔵寺まちづくり株式会社が購入 ・DIY中央台UR分譲住宅の公開 ■高蔵寺まちづくり株式会社 ・空き家管理サービス ・DIYサポート部募集 ・藤山台DIY戸建て住宅の一般公開（4/14～15） ※入居済 ・DIY岩成台戸建賃貸住宅（準備中）
②	身近な買い物環境の整備と多様な移動手段の確保	商業及び生活サービスを身近な場所で提供できるようにする施策を講じるとともに、多様な移動手段を確保する施策もあわせて講じる。	■市・県 ・自動走行関連実証実験（2～3月）（再掲） ・用途地域の見直し（11/22（水）） ・移動スーパーマーケット道風くんの対象地区拡大（9/25（月）ネオポリス、かすが台地区）	■市・名古屋大学 ◆モビリティサービス実証実験（再掲） ◆モビリティサービスシステム設計（再掲）
③	多世代の共生・交流と子育て・医療・福祉の安心の向上	多世代が共生するミクストコミュニティの形成を促進するため、子育て環境や教育の充実を図り、子育て世帯のニーズに対応するとともに、地域包括ケアの構築により、誰もが安心して住み続けられる環境を整える。	■市 ・高蔵寺まなびと交流センター（グルッポふじとう）整備工事（7～2月）（再掲） ■東部ほっとステーション運営協議会 ・東部ほっとステーションの活動（10団体） ■UR ・UR賃貸住宅のリノベーション：コンフォートクラスクラシックモダン 藤山台19戸、岩成台1戸 ・近居割WIDE：対象エリア内でUR賃貸住宅とそれ以外の住宅で二世帯が近居する場合、家賃減額 ・地域医療福祉拠点化に関する取組 ・岩成台団地におけるコミュニティサロンの整備の着手 ・健康寿命サポート住宅の供給（岩成台西2戸） ・岩成台団地における中層階段室型住棟（2棟）へのエレベーター設置工事の着手（11月） ・岩成台及び藤山台団地への生活支援アドバイザーの配置（3月） ■市・中部大学・UR ・中部大学キャンパスタウン化	■市 ・グルッポふじとう施設開所（4/1）（再掲） ■東部ほっとステーション運営協議会 ・東部ほっとステーションの活動（9団体）（継続） ■UR ・需要を踏まえた一定戸数のリノベーション住戸（コンフォートクラス クラシックモダン）の供給を実施（継続） ・近居割WIDE（継続） ・地域医療福祉拠点化に関する取組（継続） ・岩成台団地及び高森台団地におけるコミュニティサロンの整備（岩成台：7月以降完成予定） ・健康寿命サポート住宅の供給（継続） ・岩成台団地における中層階段室型住棟へのエレベーター設置（2棟：6月完成済及び12月完成予定、新たに5棟への設置に向け計画） ・高森台団地への生活支援アドバイザーの配置（10月予定） ■市・中部大学・UR ・「地域連携住居」3者覚書締結

施策名		概要	平成29年度実績	平成30年度予定
④	既存資産（ストック）の有効活用による多様な活動の促進	計画的に整備された既存資産（ストック）の集積を、知恵と工夫により有効活用し、地域住民による多様な活動を促進し、まちの魅力の向上を図る。	■市 ・旧西藤山台小学校施設の活用方法方針の検討 ・サウンディング型市場調査（7月） 5者参加 ・石尾公園の公園灯のLED化（1本） ■高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 ・藤山台UR賃貸住宅のDIY（11・12月）（再掲） ・上記DIY住宅モデルルーム公開（1/27～2/4）（再掲） ・上記DIY講演、ショートムービー上映会（2/3） 東部市民センター（再掲） ■西藤山台町内会・宮前自治会他 ・緑のクリーンプロジェクト 旧西藤山台小学校施設の草取り（7/2 参加者185名、11/5 参加者211名） ■サンマルシェを良くする会 ・緑のグリーンプロジェクトサンマルシェガードフェンス クリーン作戦（5/20）（再掲） ■UR ・UR賃貸住宅のリノベーション：コンフォートクラス クラシックモダン（再掲） 藤山台19戸、岩成台1戸	■市 ・旧西藤山台小学校施設の活用方法方針の検討（民間事業者の公募に向けた事務） ■高蔵寺ニュータウン住宅流通促進協議会 ・DIY住宅モデルルーム随時公開（1年間）（継続） ■西藤山台町内会・宮前自治会他 ・緑のクリーンプロジェクト 旧西藤山台小学校施設の草取り（6/24 参加者204名）（継続） ■UR ・需要を踏まえた一定戸数のリノベーション住戸（コンフォートクラス クラシックモダン）の供給を実施（継続）（再掲） ・藤山台団地におけるDIY住宅の供給
⑤	高蔵寺ニュータウンを超えた広域的なまちづくりの推進	高蔵寺ニュータウン単独ではなく、名古屋市の東方やJR中央本線沿線の住宅地の集積を活かした施設誘致、情報発信等により、広域的な資源集積を活かしたまちづくりと認知の向上を行う。	■市 ・名古屋市守山区職員との意見交換（4/7） ■堺市他 ・ニュータウン全国会議（7/20、21）	■市 ・国土交通省との連携により第3回「住宅団地再生」連絡会議を春日井市で開催（11/5、6） ※初の地方開催（再掲）

3 参考

■旧小学校施設（旧藤山台東小学校）を活用した多世代交流拠点の整備
グループふじとう（高蔵寺まなびと交流センター）

（平成 30 年度）

区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
グループふじとう来館者数（人）		35,237	40,190	39,556										
図書館	利用者数（人）	9,104	8,855	8,931										
	貸出数（冊）	31,198	30,279	30,720										
※参考 H29 東部 市民センター 図書室	利用者数（人）	6,600	6,345	6,489	6,999	7,287	6,414	5,263	6,342	5,822	5,861	5,744	3,531	72,697
	貸出数（冊）	25,017	23,278	23,633	25,934	27,114	23,922	20,013	23,712	22,487	22,223	21,475	13,207	272,015
児童館	来館者数（人）	6,082	3,592	3,512										
※参考 H29 東部子育てセ ンター	利用者数（人）	1,846	1,978	2,470	2,438	2,342	2,409	2,701	2,050	1,871	1,931	1,767	2,211	26,014
	相談件数	34	32	27	33	22	34	39	24	20	23	24	13	325
コミュニティ カフェ	来館者数（人）	11,754	9,761	8,716										
ギャラリー	来館者数（人）	4,410	4,250	2,665										
たまりばルーム 他	来館者数（人）	4,699	4,185	3,562										
地域包括支援セン ター（藤山台・岩 成台）	来館者数（人）	372	214	322										
	相談件数	119	116	118										
※参考（高森台・ 石尾台）	相談件数	187	162											
子どもとまちのサ ポートセンター	来館者数（人）	3,190	2,390	2,380										
地域住民サポーター 登録者数（累計・人）		27	29	30										

平成 30 年4月にオープンした高蔵寺まなびと交流センター「グループふじとう」

※グループふじとうイベント

月	イベント名
4 月	開所記念式典・オープニングイベント
	みんなの「和」コンサート
5 月	うるとら Cha no Marche
	5 月のバルはこのジャズで
6 月	花壇の植え替え（地域住民サポーター）

■定期開催イベント

地域包括	まちの保健室「健康講座」
児童館	親子で楽しむイベント
	グループ親子教室
	グループミニ
	親子でヨガ
	英語であそぼう
	ボードゲームで遊ぼう
	絵本の会
	食育
図書館	小学生工作
	赤ちゃんのためのおはなし会
	紙芝居とお話を聞く会



グループふじとうオープニングイベント



児童館



g cafe Fujitō



図書館



毎月の最新情報をお知らせするグループふじとうの広報誌



地域住民サポーターによる花壇の花植え

■多世代の共生・交流と子育て・医療・福祉の安心の向上
地域包括ケア（多世代の共生・交流と子育て・医療・福祉の安心の向上）

1 地域包括支援センターの機能向上

(1) 地域包括支援センターの再編（平成 30 年 4 月～）

ア 地域包括支援センターの役割

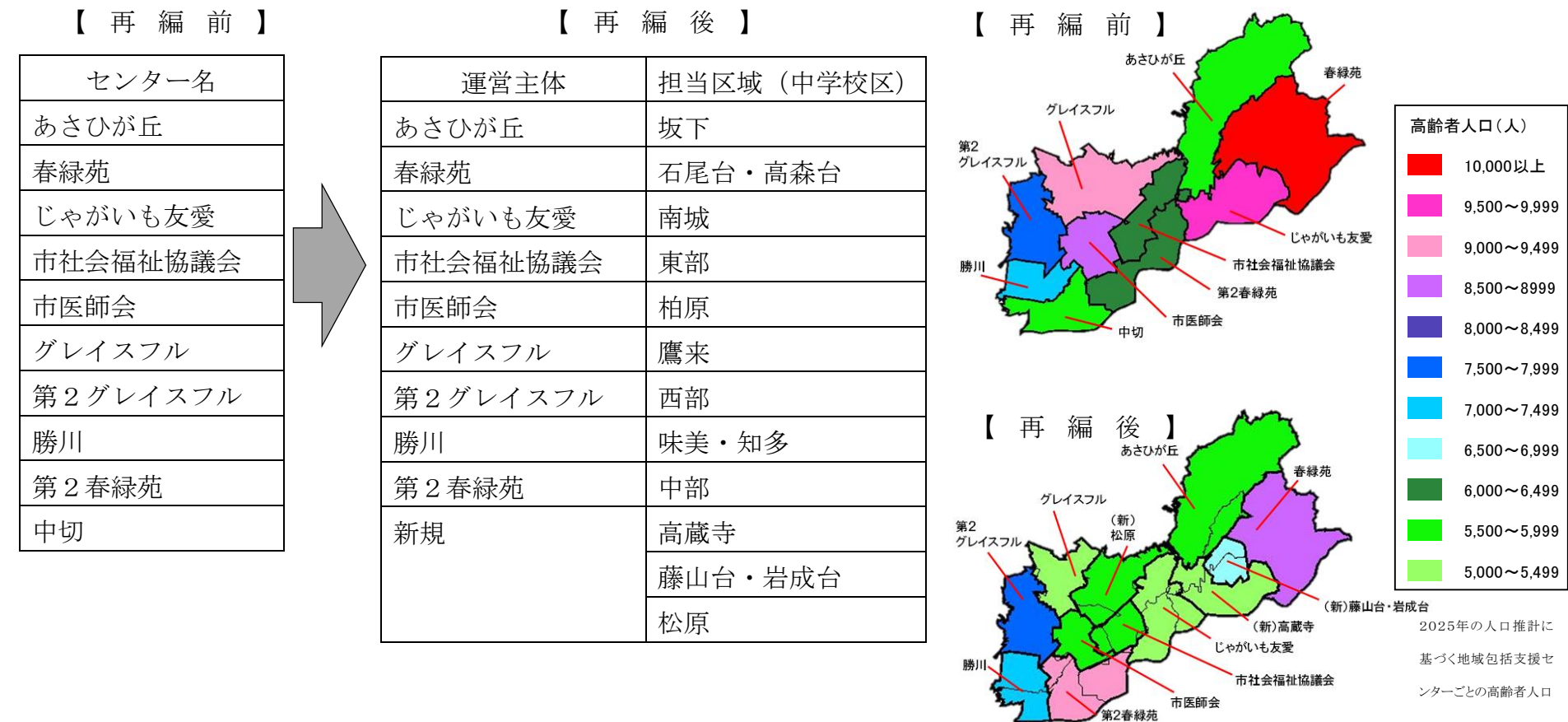
包括的支援事業を実施することにより、各被保険者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、介護給付等対象サービスその他の保健医療サービス又は福祉サービス、権利擁護のための必要な援助等を利用できるように導き、各被保険者が可能な限り、住み慣れた地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う機関

イ 各地域包括支援センターの人員

第 1 号被保険者数が概ね 3,000 人以上 6,000 人未満ごとに、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員、各 1 名

(2) 担当区域の再編

地域包括ケアの中核的な役割を担う地域包括支援センターについて、より地域に密着した配置とするため中学校区を単位として、現行の 10 か所を 12 か所に再編し、高齢者や地域のニーズに迅速かつきめ細やかに対応できる体制を整備。



2 基幹型地域包括支援センターの設置（平成 30 年 4 月～）

(1) 目的

在宅医療・介護連携推進事業及び認知症総合支援事業をより効果的に推進するため、各地域包括支援センターの総合調整及び後方支援を行う基幹型地域包括支援センターを設置するもの

(2) 業務内容

ア 各地域包括支援センターの総合調整、在宅医療・介護連携の推進、各種職員研修の実施等

イ 各地域包括支援センターへの指導・助言、高齢者虐待及び支援困難事例に対する後方支援

ウ 認知症の人や家族に早期に関わる認知症初期集中支援チームの配置

(3) センターの概要

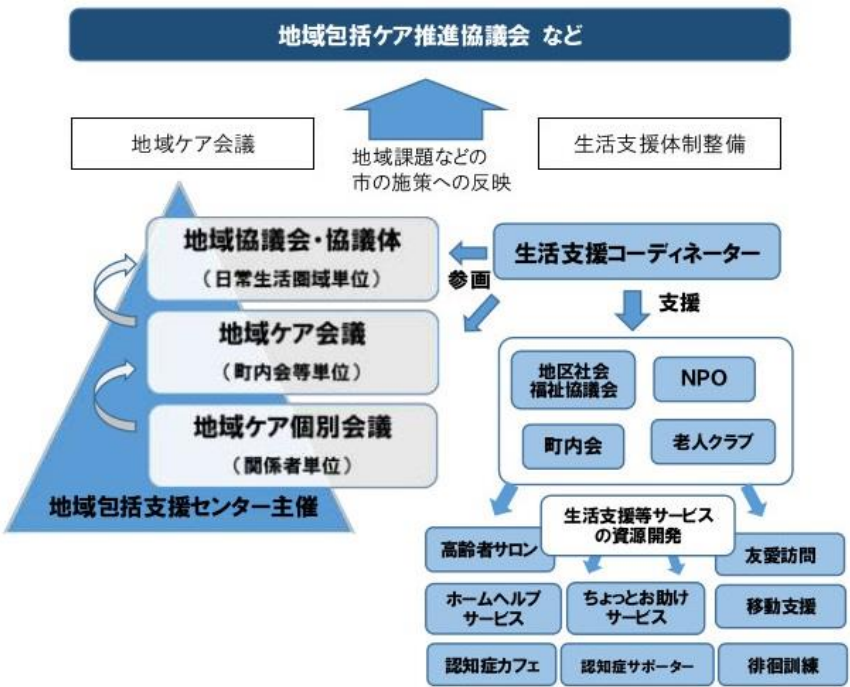
ア 運営主体（予定） 社会福祉法人春日井市社会福祉協議会

イ 設置予定場所 総合福祉センター

ウ 設置時期 平成 30 年 4 月

(4) 生活支援体制

「協議体」は、各地域包括支援センターの担当地区（日常生活圏域）を単位として設置し、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが中心となって地域課題の解決に向けた取り組みを行います。



東部ほっとステーション
まちづくり活動、福祉や介護相談、生活支援などを行う市民活動拠点。
場所：サンマルシェ南館 1 階

団体名	主な活動内容
岩成台西地区社会福祉協議会	防災活動の研修や子育て支援サロンなど
NPO 法人ワーカーズかすがい	集いの場の提供と福祉相談
精神保健福祉ボランティアグループ「かたつむり」	こころの病を持つ人に居場所を開放
NPO 法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議	住まいや暮らしの困りごと何でも相談など
NPO 法人ギブアンドテイク春日井	買い物、通院、外出などの生活支援など
学習教室きみいろ	支援を必要とする中学生の学習支援
クロスカル	在日外国人の日本語学習や生活の支援など
NPO 法人けやきフォーラム	高齢者や障がい者へのパソコンサポート事業
春日井市民後見をすすめる会	市民の共助による後見活動の環境整備など

区分		H27	H28	H29	H30
東部ほっと ステーショ ン	登録団体数	9	10	10	9
	延べ使用回数（回）	419	482	444	
	利用者数（人）	5,356	5,466	5,146	



統廃合から始まった学校支援地域本部の取組
藤山台中学校区学校地域連携協議会（ゆめふじ連携協議会）

学校、保護者、地域住民及び関係諸団体が協力し、学校が地域と協働して連携を高め、さらには、まち育てに貢献することを目的として活動。

- 設置年月：平成 28 年 4 月
- 事務局室：地域連携室（藤山台小学校内）
- 主な取組み

（1）登下校見守り活動

個別に活動していた団体や個人をネットワーク化し、情報共有することで、地域内の危険箇所全てで見守りを実施。



（2）環境支援活動



ゆめふじ連携協議会が募集した環境ボランティアが学校花壇を整備。

（3）放課後の居場所作り活動

概ね月 1 回程度、土曜日を有効活用した多用な活動「土曜チャレンジ・アップ教室」を実施。企画、ボランティア講師との調整を地域コーディネーターが、当日の運営補助等を地域ボランティアが担う。



（4）バザーの実施

活動資金の一助とするためバザーを実施し、学校支援活動を拡大。



（5）地域コミュニティの創設

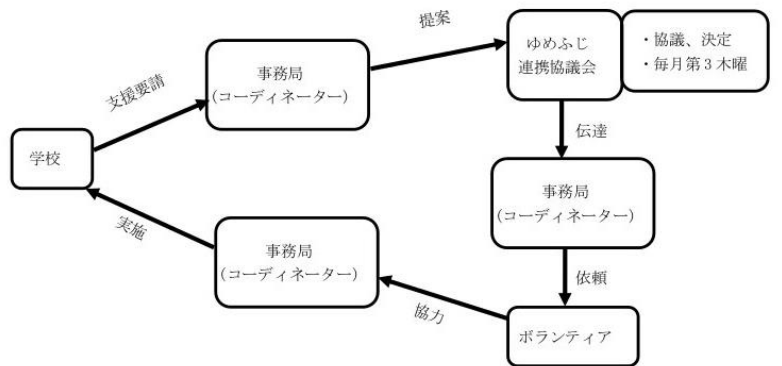
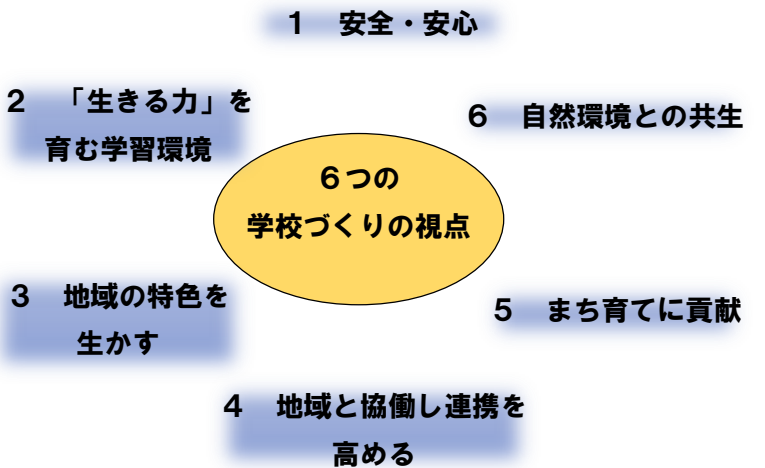


ゆめふじ連携協議会で出会った人々が、地域コミュニティ創設に向けて活動し、地域の大運動会を開催。

共通理念

『みんなでつくり みんなで育てる みんなの学校』

藤山台地区にふさわしい学校・保護者・地域住民・地域団体・市教育委員会の関係づくり
～学校と地域の連携推進のしくみづくりから「まち育て」の取り組みへ～



小中学校長、小中学校 PTA 役員、町内会等の役員、地区社会福祉協議会の役員、幼稚園長、少年指導員、地域防災会役員、体育振興会役員、学校支援ボランティア代表の、総計 12 人。

協議会を支える事務局に、事務局長（地域住民）、地域コーディネーター、事務局スタッフとして PTA 役員経験者や地域住民が参加。

資料 3 参考資料

